

## 海域火山の最近の活動について

### The Recent Activities of Submarine Volcanoes and Volcanic Islands

海上保安庁  
Japan Coast Guard

前回（第130回）に報告した以後（2014年10月18日から2015年1月31日）の活動状況は以下のとおりである。

#### 南方諸島方面

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
西之島	2014/12/10	海上保安庁 J A X A	<p>西之島のALOS2のデータを解析した結果、溶岩流は北東、北、西方向に拡大していた。火口状の地形は第7火口と思われる1カ所が確認できる。</p> <p>新たな陸地の大きさは、東西方向約1,760m、南北方向約1,820mで、海上保安庁が2014年10月17日に観測した結果の約1.85km<sup>2</sup>と比較して、約0.39km<sup>2</sup>拡大し、約2.24km<sup>2</sup>となっていた。また、西之島の面積は0.04km<sup>2</sup>であった。</p>
西之島	2014/12/25	海上保安庁	<p>第7火口で、溶岩片を伴った白色及び灰色の噴煙を噴出していた。噴火の継続時間は約10秒～20秒で、噴火停止から開始までの間隔は約5～10秒であった。また、噴煙高度は約600mで東方向へ伸びている。</p> <p>溶岩流は、第7火口の火砕丘の北側山腹から、主に北西及び北東方向へ流出し、先端部を分岐しながら扇状に広がっている（写真1）。北西方向に流出している溶岩流により旧西之島は、ほぼ全部が埋没していた。熱赤外線計測の結果、第7火口の温度は約327であった。西之島の北東及び北西の海岸線に達する溶岩流があり、この溶岩流の温度は約150～170である。また第7火口の北西方向の2カ所と北東方向の陸部に溶岩流があり、これらの温度は約210～240であった（写真2）。</p> <p>西之島の変色水域は、西之島の北岸、東岸及び南岸に沿って幅約100m～300mで薄い青白色の変色水域が分布している。また、西之島の西岸に沿って幅約100m～200mで黄緑色の変色水域が分布している。</p> <p>なお、西之島南海丘付近には変色水域等の特異事象は認められなかった。</p> <p>新たな陸地は、溶岩流により10月16日の調査時と比較して北方向へ約50～200m、北東方向へ約150～200m、</p>

\* 2015年4月21日受付

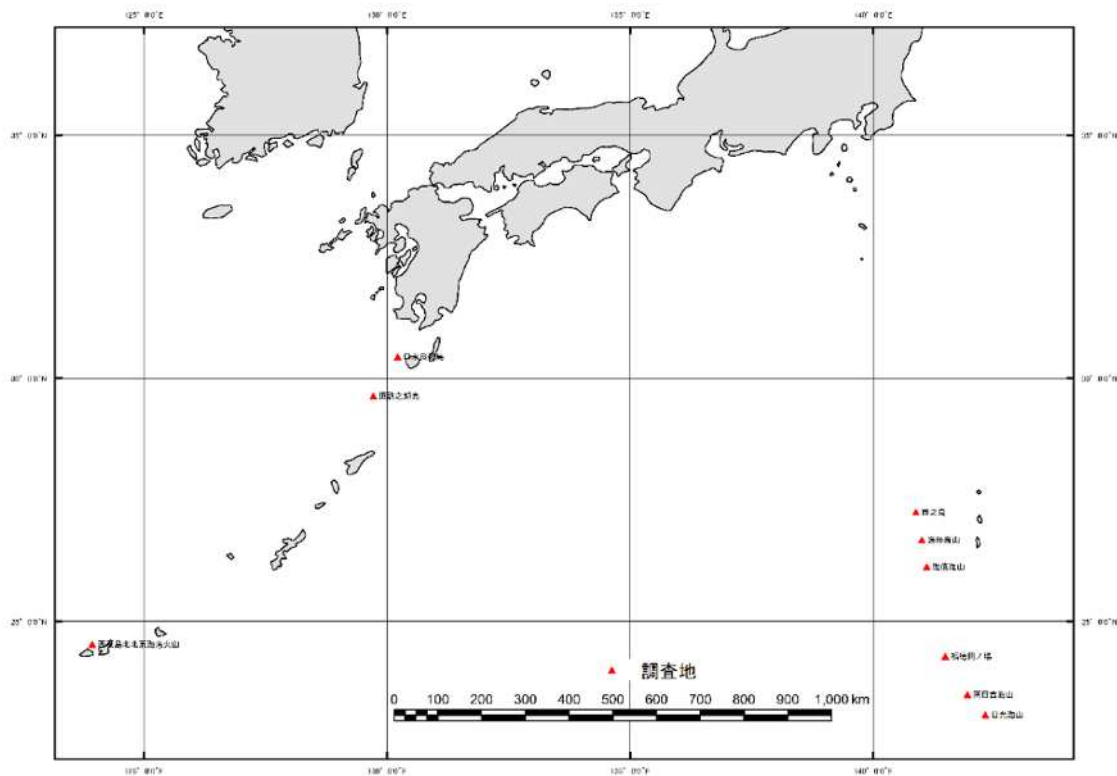
場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			<p>西方向へ約200～250m延伸し、大きさは東西方向に約1,710m、南北方向に約1,830mとなり、面積は約2.29km<sup>2</sup>で10月16日の1.85km<sup>2</sup>から0.44km<sup>2</sup>拡大した(計測値は暫定値)。</p> <p>調査結果から新たな陸地及び西之島に大規模な崩落を惹起させるような地割れ、沈降等の特異な地形変化は認められない。</p>
西之島	2014/12/26	海上自衛隊	大規模な噴煙及び変色水域等の特異事象なし。
西之島	2014/12/31	第三管区 海上保安本部	<p>第7火口で白色噴煙を確認した。</p> <p>溶岩流は北西方向へ流出し、先端部の海水と接する部分では水蒸気を上げている。溶岩流により旧西之島は、ほぼ全部が埋没している。</p> <p>西之島の東岸、北岸及び西岸に沿って、幅約100～300mで薄い黄緑色の変色水域が分布している。</p>
西之島	2015/1/21	海上保安庁	<p>第7火口の1カ所で噴火を継続していた(写真3)。</p> <p>噴火の間隔は、噴煙を伴う噴火で約5～20秒間隔、長いときには約30～40秒間隔であったが、噴煙を伴わない溶岩片を連続的に放出するストロンボリ式噴火を継続していた。噴煙は灰色で、噴煙高度は約500mで西方向へ伸びていた。</p> <p>溶岩流は、新たな陸地の東側に東方向へ流出し、海岸線には水蒸気が立ち上がっていた。この溶岩流は南北に2本あり、南側の1本は海岸線付近で数本に枝分かれし、扇状に拡がり、溶岩流出口からの長さは約450mであった。北側の溶岩流は、途中で枝分かれせず海岸線まで流出し、溶岩流出口からの長さは約150mであった。これらの溶岩流は海岸線付近で合流して、その幅は最大約300mとなっていた。</p> <p>北岸の海岸線の1箇所に溶岩が露出している場所があり、海岸線には水蒸気が立ち上っていた。この溶岩付近の温度は周囲と比較して高温であった。</p> <p>火砕丘東側の麓にも溶岩が露出している所があり、青白色の火山性ガスを放出していた。また、その東側には、地表面に硫黄が析出している場所があり、青白色の火山性ガスをわずかに放出していた。この付近には地表近くの地中に溶岩が存在していると考えられる。</p> <p>変色水域は、西之島の東岸から北岸に沿って幅約200～300mで、薄い黄緑色で分布していた。</p>

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			別の変色水域は西之島の西岸の旧西之島付近から南側の海岸線に沿って幅約150～250mの薄い黄緑色で分布していた。前回の2014年12月25日の状況と比較して、色調及び分布には大きな変化はなかった。 旧西之島付近の溶岩流に変化はなかった。
海徳海山	2014/12/26	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
福德岡ノ場	2014/11/26	第三管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。
福德岡ノ場	2014/12/26	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
福德岡ノ場	2015/ 1 /27	第三管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。
南硫黄島	2014/11/26	第三管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。
南日吉海山	2014/12/26	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
日光海山	2014/12/26	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
福神海山	2014/12/26	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。

南西諸島方面

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
口永良部島	2014/11/ 8	第十管区 海上保安本部	新岳火口内4ヶ所、火口西側割れ目及び火口南側割れ目で白色噴気を確認した(写真4)。 熱赤外画像によると新岳火口西側割れ目付近、新岳火口南外側及び新岳火口南西の山腹に高温部分を認めた。 古岳火口にごくわずかな白色噴気を確認した(写真5)。 ニシマザキ南約1,000～1,500mの海岸に沿って、幅約100～400mで薄い黄緑色の変色水域が分布している。 新岳の南西から西にかけて植生が茶色に変色している区域があるが、9月22日と比較して、顕著な変化は認められなかった。
口永良部島	2014/12/28	第十管区 海上保安本部	新岳火口内、火口西側割れ目及び火口南側割れ目で白色噴気を確認した。 熱赤外画像によると、新岳火口西側割れ目付近及び新岳火口南外側に高温部分を認めた。 ニシマザキ南約1,000mの海岸付近に、半径約200m、幅約200mの扇形で、薄い黄緑色の変色水域が分布している。また、ニシマザキ南約1,200～1,500mの海岸線に沿って、幅約100～200mで薄い黄緑色の変色水域が分布

			している(写真6)。
口永良部島	2015/1/4	第十管区 海上保安本部	新岳火口内、火口西側割れ目及び火口南側割れ目で白色噴気を確認した。噴気の規模は、前回2014年12月28日と比較して同程度であった。 熱赤外画像によると、新岳火口西側割れ目付近及び新岳火口南外側に高温部分を認めた。
口永良部島	2015/1/28	第十管区 海上保安本部	新岳火口、火口西側割れ目及び火口南側割れ目で白色噴気を確認した。また、古岳火口に白色噴気を認めた。 熱赤外画像によると、新岳火口西側割れ目付近、新岳火口南外側及び新岳火口南西の山腹に高温部分を認めた。また、新岳の北東約500mの斜面に高温部分を確認した。 島の海岸線周辺に変色水域は認められなかった。
諏訪之瀬島	2015/1/4	第十管区 海上保安本部	御岳火口内に数カ所の白色噴気を確認した(写真7)。
西表島北北東海底火山	2014/11/16	第十一管区 海上保安本部	特異事象認めず。
西表島北北東海底火山	2014/12/2	第十一管区 海上保安本部	特異事象認めず。



第1図 海域火山位置図

Fig.1 Location map of submarine volcanoes and volcanic islands.



写真1 西之島 北側に拡大する溶岩流  
2014年12月25日 11:43撮影

Photo.1 Lava flow of north side, Nishi-no-shima Island.

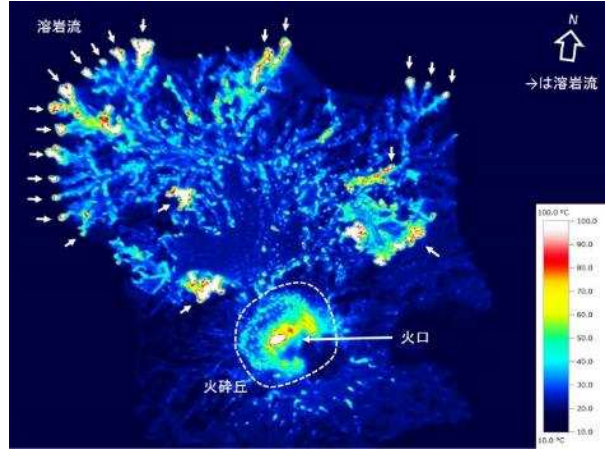


写真2 西之島 熱画像  
2014年12月25日 10:55撮影

Photo.2 Thermal anomalies, Nishi-no-shima Island.



写真3 西之島 第7火口の噴煙及び東側溶岩流  
2015年1月21日 11:21撮影

Photo.3 Gray plume of the 7th crater and lava flow of east side, Nishi-no-shima Island.

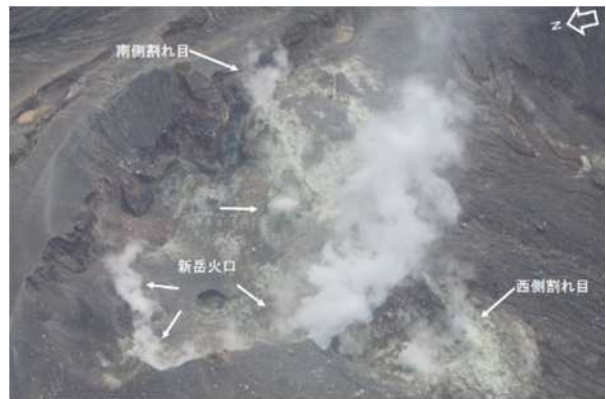


写真4 口永良部島 新岳火口の白色噴気  
2014年11月8日 11:32撮影

Photo.4 White fumarolic gas in crater of Shin-dake, Kuchinoerabu-jima Island.



写真5 口永良部島 古岳火口の白色噴気  
2014年11月8日 11:33撮影

Photo.5 White fumarolic gas in crater of Huru-dake, Kuchinoerabu-jima Island.



写真6 口永良部島 ニシマザキ南側の変色水域  
2014年12月28日 14:55撮影

Photo.6 Discolored waters of south side of Nishimazaki, Kuchinoerabu-jima Island.



写真7 諏訪之瀬島 御岳火口内の白色噴気  
2015年1月4日 13:17 撮影

Photo.7 White fumarolic gas in crater of O-take,  
Suwanose-shima Island.